

1 幼稚園

園児数 4,547人で減少

3歳児入園者の割合、幼稚園就園率とも低下

表1 幼稚園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
			園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数C/B	対前年度増減数	園児数C/D	対前年度増減数	
平成23	93	466	7,411	△3.3	638	△3.9	15.9	△0.5	11.6	0.1	94.4
24	92	455	7,229	△2.5	647	1.4	15.9	0.0	11.2	△0.4	94.3
25	89	429	6,891	△4.7	615	△4.9	16.1	0.2	11.2	0.0	94.5
26	86	425	6,605	△4.2	601	△2.3	15.5	△0.6	11.0	△0.2	93.8
27	74	342	5,228	△20.8	514	△14.5	15.3	△0.2	10.2	△0.8	94.6
28	66	305	4,547	△13.0	475	△7.6	14.9	△0.4	9.6	△0.6	94.5
国立	1	5	99	0.0	7	0.0	19.8	0.0	14.1	0.0	100.0
公立	27	94	1,183	△7.4	125	△3.8	12.6	0.3	9.5	△0.3	99.2
私立	38	206	3,265	△15.2	343	△9.0	15.8	△0.7	9.5	△0.7	92.7

(1) 幼稚園数

幼稚園数66園で、前年度より8園減少(廃園8園)しており、このうち休園中の幼稚園は2園(私立2園)であった。

設置者別にみると、国立が1園、公立が27園、私立が38園となっている。

(表1、統計表2、4、5)

(2) 学級数

学級数は305学級(国立5学級、公立94学級、私立206学級)で、前年度より37学級減少している。

収容人員別にみると、「1~15人学級」が116学級で最も多く、次いで「16~20人学級」が78学級、「21~25人学級」が51学級などとなっている。

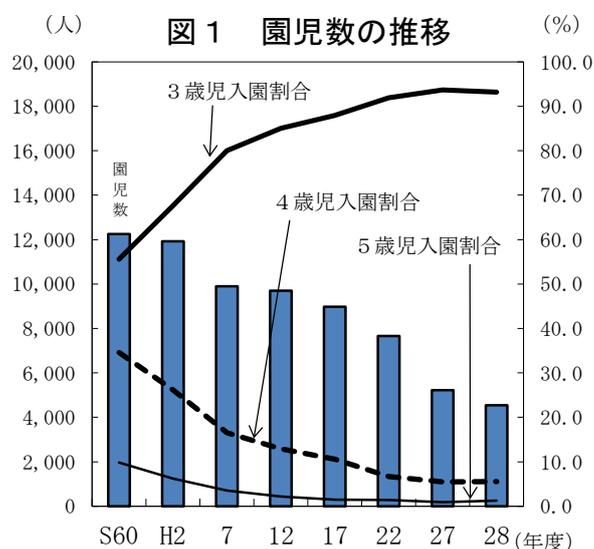
(表1、統計表7、8)

(3) 園児数

園児数は4,547人で、前年度より681人(13.0%)減少している。

男女別にみると、男子が2,326人で、前年度より287人(11.0%)減少し、女子が2,221人で、前年度より394人(15.1%)減少している。

設置者別では、国立が99人、公立が1,183人、私立が3,265人で、私立が全体の71.8%を占めている。



年齢別では、3歳児が1,429人で、前年度より228人(13.8%)減少し、4歳児が1,521人で、前年度より219人(12.6%)減少し、5歳児が1,597人で、前年度より234人(12.8%)減少している。園児数に占める3歳児の割合は31.4%(前年度31.7%)である。

また、3歳児入園者の割合は93.2%(前年度93.7%)である。

本務教員1人当たりの園児数は9.6人(前年度10.2人)で、全国の13.4人を下回っている。

(表1、2、図1、統計表3、15)

表2 年齢別園児数

(単位：人、%)

年度	計	3歳児	4歳児			5歳児			3歳児入園者の割合	
			計	3歳から入園	4歳から入園	計	3歳から入園	4歳から入園		5歳から入園
平成23	7,411	2,338	2,555	2,343	212	2,518	2,183	250	85	92.6
24	7,229	2,283	2,391	2,197	194	2,555	2,238	248	69	92.9
25	6,891	2,168	2,338	2,128	210	2,385	2,080	216	89	92.5
26	6,605	2,085	2,197	2,007	190	2,323	2,029	199	95	92.7
27	5,228	1,657	1,740	1,614	126	1,831	1,629	153	49	93.7
28	4,547	1,429	1,521	1,414	107	1,597	1,395	144	58	93.2
男子	2,326	754	760	714	46	812	711	72	29	93.7
女子	2,221	675	761	700	61	785	684	72	29	92.7
国立	99	25	36	25	11	38	23	13	2	73.7
公立	1,183	356	388	346	42	439	360	49	30	89.8
私立	3,265	1,048	1,097	1,043	54	1,120	1,012	82	26	95.0

幼稚園就園率(小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者の比率)は21.9%(前年度27.1%)で、前年度より5.2ポイント低下している。(表3、統計表10、34)

表3 幼稚園就園率

(単位：人、%)

年度	幼稚園修了者数	小学校第1学年児童数	幼稚園就園率
平成23	2,695	9,327	28.9
24	2,531	9,034	28.0
25	2,554	8,929	28.6
26	2,369	8,751	27.1
27	2,337	8,611	27.1
28	1,853	8,466	21.9

注) 幼稚園就園率=幼稚園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数(本務者)は475人(男子26人、女子449人)で、前年度より39人(7.6%)減少している。教員数に占める女子教員の割合は94.5%である。

職員数は93人で、前年度より3人減少している。

(表1、統計表9、12、14)

2 幼保連携型認定こども園

園児数 8,435 人で増加

表4 幼保連携型認定こども園の推移

(単位：園、学級、人、%)

年度	A 園数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員の占める割合
			園児数	対前年度増減率	教員数(本務者)	対前年度増減率	園児数(3~5歳児)	対前年度増減数	園児数C/D	対前年度増減数	
平成27	26	137	3,972	—	594	—	20.5	—	6.7	—	96.5
28	58	292	8,435	112.4	1,307	120.0	19.4	△1.1	6.5	△0.2	95.8
公立	2	6	137	—	23	—	16.2	—	6.0	—	95.7
私立	56	286	8,298	108.9	1,284	116.2	19.5	△1.0	6.5	△0.2	95.8

(1) 幼保連携型認定こども園数

幼保連携型認定こども園数は58園で、前年度より32園増加(新設32園)している。

設置者別にみると、公立が2園、私立が56園となっている。(表4、統計表17)

(2) 学級数

学級数は292学級(公立6学級、私立286学級)で、前年度より155学級増加している。

収容人員別にみると、「16~20人学級」が72学級で最も多く、次いで「1~15人学級」が70学級、「21~25人学級」が66学級などとなっている。

(表4、統計表22、23)

(3) 園児数

園児数は8,435人で、前年度より4,463人(112.4%)増加している。

男女別にみると、男子が4,375人で、前年度より2,372人(118.4%)増加し、女子が4,060人で、前年度より2,091人(106.2%)増加している。

設置者別では、公立が137人、私立が8,298人で、私立が全体の98.4%を占めている。

年齢別では、0歳児が256人で、前年度より165人(181.3%)増加し、1歳児が1,128人で、前年度より616人(120.3%)増加し、2歳児が1,384人で、前年度より820人(145.4%)増加し、3歳児が2,012人で、前年度より1,062人(111.8%)増加し、4歳児が1,826人で、前年度より883人(93.6%)増加し、5歳児が1,829人で、前年度より917人(100.5%)増加している。

本務教員(教育・保育職員)1人当たりの園児数は6.5人で、全国の7.0人を下回っている。

(表4、5、図2、統計表18)

図2 園児数の推移

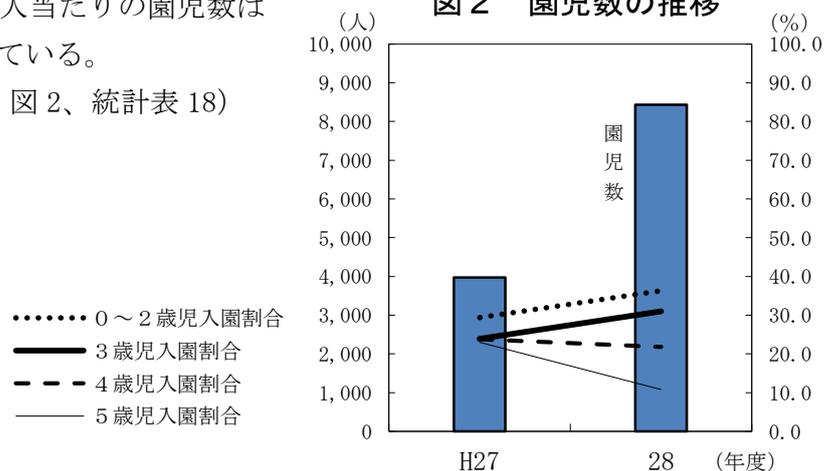


表5 年齢別園児数

(単位：人、%)

年 度	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成 27	3,972	91	512	564	950	943	912
28	8,435	256	1,128	1,384	2,012	1,826	1,829
男子	4,375	135	575	716	1,033	955	961
女子	4,060	121	553	668	979	871	868
公立	137	7	17	16	32	32	33
私立	8,298	249	1,111	1,368	1,980	1,794	1,796

幼保連携型認定こども園就園率（小学校第1学年児童数に対する幼保連携型認定こども園修了者の比率）は、10.8%である。（表6、統計表25、34）

表6 幼保連携型認定こども園就園率

(単位：人、%)

年度	幼保連携型 認定こども園 修了者数	小学校第1 学年児童数	幼保連携型 認定こども園 就園率
平成28	911	8,466	10.8

注) 幼保連携型認定こども園就園率＝幼保連携型認定こども園修了者数÷小学校第1学年児童数×100

(4) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は、1,307人（男子55人、女子1,252人）で、前年度より713人（120.0%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は95.8%となっている。

職員数は253人で、前年度より130人増加している。

（表4、統計表24、27、29）

3 小 学 校

児童数 53,112 人で減少

表 7 小学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C 児童数	D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合	
				対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	児童数 C/B	対前年度 増減数	児童数 C/D		対前年度 増減数
平成23	201	2,432	59,145	△1.2	3,717	0.5	24.3	△0.3	15.9	△0.3	67.5
24	199	2,384	57,959	△2.0	3,682	△0.9	24.3	0.0	15.7	△0.2	67.2
25	198	2,372	56,684	△2.2	3,685	0.1	23.9	△0.4	15.4	△0.3	66.9
26	196	2,334	55,277	△2.5	3,651	△0.9	23.7	△0.2	15.1	△0.3	66.3
27	196	2,321	54,195	△2.0	3,653	0.1	23.3	△0.4	14.8	△0.3	65.8
28	193	2,302	53,112	△2.0	3,614	△1.1	23.1	△0.2	14.7	△0.1	65.4
国立	1	12	427	△2.3	18	0.0	35.6	△0.8	23.7	△0.6	38.9
公立	192	2,290	52,685	△2.0	3,596	△1.1	23.0	△0.3	14.7	△0.1	65.5

(1) 学校数

学校数は193校(本校192校、分校1校)で、前年度より3校減少(新設2校、廃校5校)し、このうち休校中の学校は3校(公立3校)であった。

設置者別にみると、国立が1校、公立が192校となっている。

市町村別では、富山市67校、高岡市26校、射水市15校などとなっている。

学級数別では、7学級の学校が27校(構成比14.0%)で最も多く、次いで14学級の学校が25校(同13.0%)、8学級の学校が22校(同11.4%)などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模又は休校)」が102校(構成比52.8%)、「12~18学級(標準)」が63校(同32.6%)、「19学級以上(大規模)」が28校(同14.5%)となっている。

(表7、統計表32、40)

(2) 学級数

学級数は2,302学級で、前年度より19学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が1,914学級(構成比83.1%)、複式学級が25学級(同1.1%)、特別支援学級が363学級(同15.8%)となっている。

(表7、統計表33)

(3) 児童数

児童数は53,112人(男子27,251人、女子25,861人)で、前年度より1,083人(2.0%)減少している。これはピーク時(昭和33年度、159,700人)の33.3%である。

学級編制方式別にみると、単式学級児童が51,835人、複式学級児童が268人、特別支援学級児童が1,009人となっている。

市町村別では、富山市21,467人、高岡市7,934人、射水市5,195人の順に多い。対前年度増減数をみると、舟橋村5人(2.2%)増加と1村で増加し、富山市322人(1.5%)減少、高岡市215人(2.6%)減少、氷見市112人(5.2%)減少など14市町で減少している。

1学級当たりの児童数は23.1人（前年度23.3人）で、全国の23.9人を下回っている。
 本務教員1人当たりの児童数は14.7人（前年度14.8人）で、全国の15.5人を下回っている。
 （表7、8、統計表34、43）

表8 男女別及び学年別児童数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
平成23	59,145	30,228	28,917	9,327	9,594	9,704	10,151	10,145	10,224
24	57,959	29,764	28,195	9,034	9,349	9,587	9,692	10,156	10,141
25	56,684	29,119	27,565	8,929	9,030	9,326	9,572	9,685	10,142
26	55,277	28,374	26,903	8,751	8,934	9,016	9,321	9,585	9,670
27	54,195	27,807	26,388	8,611	8,752	8,927	9,011	9,324	9,570
28	53,112	27,251	25,861	8,466	8,618	8,744	8,930	9,020	9,334

（4）教員数及び職員数

教員数（本務者）は3,614人（男子1,252人、女子2,362人）で、前年度より39人（1.1%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は65.4%である。

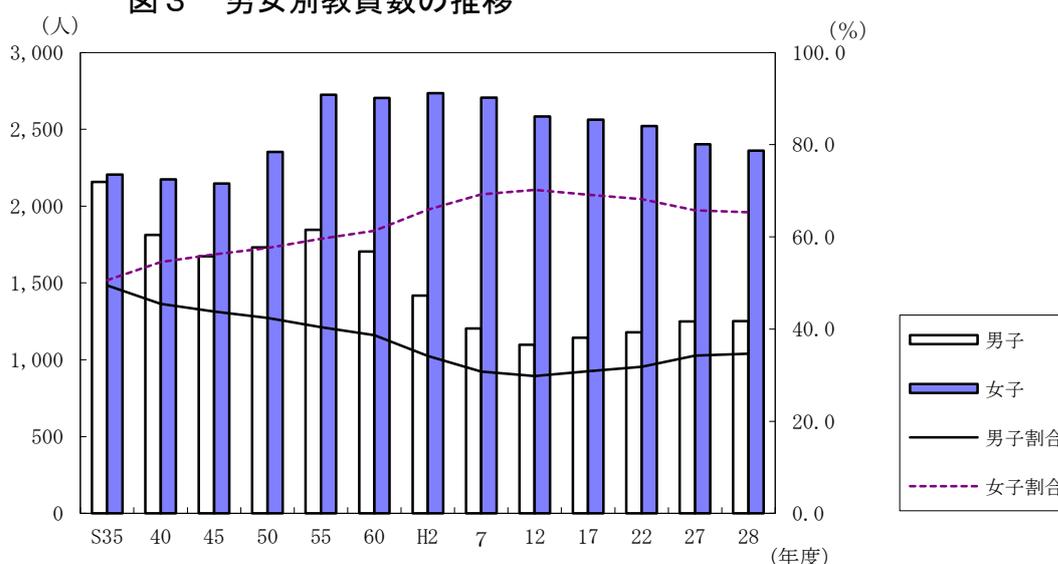
職員数は790人で、前年度より6人減少している。（表7、9、図3、統計表35、36、48）

表9 男女別教員数

（単位：人）

年度	計	男	女
平成23	3,717	1,207	2,510
24	3,682	1,208	2,474
25	3,685	1,219	2,466
26	3,651	1,232	2,419
27	3,653	1,250	2,403
28	3,614	1,252	2,362

図3 男女別教員数の推移



4 中 学 校

生徒数 29,312 人で減少

表10 中学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A 学校数	B 学級数	C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
			生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 C/B	対前年度 増減数	生徒数 C/D	対前年度 増減数	
平成23	83	1,032	30,500	0.2	2,168	0.7	29.6	△0.5	14.1	0.0	47.7
24	83	1,023	30,364	△0.4	2,152	△0.7	29.7	0.1	14.1	0.0	47.2
25	82	1,030	30,372	0.0	2,172	0.9	29.5	△0.2	14.0	△0.1	46.9
26	83	1,039	30,419	0.2	2,183	0.5	29.3	△0.2	13.9	△0.1	46.6
27	83	1,024	29,867	△1.8	2,173	△0.5	29.2	△0.1	13.7	△0.2	46.2
28	83	998	29,312	△1.9	2,149	△1.1	29.4	0.2	13.6	△0.1	46.5
国立	1	12	478	0.0	23	0.0	39.8	0.0	20.8	0.0	26.1
公立	81	977	28,502	△1.9	2,102	△1.3	29.2	0.2	13.6	0.0	46.9
私立	1	9	332	0.6	24	14.3	36.9	0.2	13.8	△1.9	33.3

(1) 学校数

学校数は83校(本校82校、分校1校)で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が81校、私立が1校となっている。

市町村別では、富山市29校、高岡市12校、南砺市8校などとなっている。

学級数別では、11学級が12校(構成比14.5%)で最も多く、次いで7学級、8学級、13学級がともに6校(同7.2%)などとなっている。学級規模で学校数をみると、「11学級以下(小規模)」が47校(構成比56.6%)、「12~18学級(標準)」が21校(同25.3%)、「19学級以上(大規模)」が15校(同18.1%)となっている。(表10、統計表50、52)

(2) 学級数

学級数は998学級で、前年度より26学級減少している。

編制方式別にみると、単式学級が857学級(構成比85.9%)、複式学級が1学級(同0.1%)、特別支援学級が140学級(同14.0%)となっている。(表10、統計表51)

(3) 生徒数

生徒数は29,312人(男子15,010人、女子14,302人)で、前年度より555人(1.9%)減少している。これはピーク時(昭和37年度、88,658人)の33.1%である。

学級編制方式別にみると、単式学級生徒が28,905人、複式学級生徒が7人、特別支援学級生徒が400人となっている。

市町村別では、富山市11,794人、高岡市4,334人、射水市2,782人の順に多い。対前年度増減数をみると、入善町6人(0.9%)増加、立山町1人(0.1%)増加と2町で増加し、高岡市135人(3.0%)減少、富山市110人(0.9%)減少、射水市65人(2.3%)減少など13市町村で減少している。

1学級当たりの生徒数は29.4人(前年度29.2人)で、全国の28.0人を上回っている。

本務教員1人当たりの生徒数は13.6人（前年度13.7人）で、全国の13.5人を上回っている。

（表10、11、統計表54、64）

表11 男女別及び学年別生徒数の推移

（単位：人）

年度	計	男子	女子	1学年	2学年	3学年
平成23	30,500	15,550	14,950	10,089	10,106	10,305
24	30,364	15,507	14,857	10,197	10,074	10,093
25	30,372	15,529	14,843	10,122	10,187	10,063
26	30,419	15,523	14,896	10,117	10,113	10,189
27	29,867	15,346	14,521	9,654	10,110	10,103
28	29,312	15,010	14,302	9,542	9,654	10,116

（4）教員数及び職員数

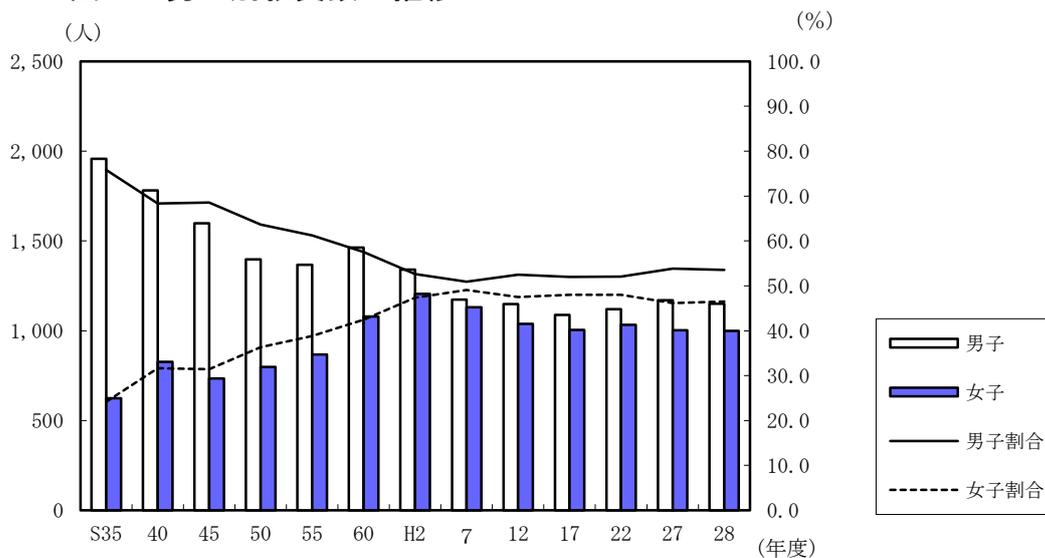
教員数（本務者）は2,149人（男子1,150人、女子999人）で、前年度より24人（1.1%）減少している。教員数に占める女子教員の割合は46.5%である。

職員数は301人で、前年度と同数である。（表10、12、図4、統計表58、62、65）

表12 男女別教員数（単位：人）

年度	計	男	女
平成23	2,168	1,133	1,035
24	2,152	1,137	1,015
25	2,172	1,154	1,018
26	2,183	1,166	1,017
27	2,173	1,170	1,003
28	2,149	1,150	999

図4 男女別教員数の推移



5 高等学 校

【全日制課程・定時制課程】

生徒数 28,624 人で減少

表13 高等学校（全日制課程・定時制課程）の推移

(単位：校、人、%)

年度	A 学校数	B		C		本務教員1人当たり		女子教員 の占める 割合
		生徒数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	生徒数 B/C	対前年度 増減数	
平成23	61	28,753	0.5	2,354	0.6	12.2	0.0	36.3
24	53	29,279	1.8	2,344	△0.4	12.5	0.3	36.6
25	53	28,864	△1.4	2,308	△1.5	12.5	0.0	37.1
26	53	28,857	△0.0	2,316	0.3	12.5	0.0	37.6
27	53	28,671	△0.6	2,309	△0.3	12.4	△0.1	38.2
28	53	28,624	△0.2	2,313	0.2	12.4	0.0	37.5
公立	43	22,653	△0.1	1,913	0.3	11.8	△0.1	38.9
私立	10	5,971	△0.3	400	△0.5	14.9	0.0	30.8

(1) 学校数

学校数は53校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、公立が43校（全日制37校、定時制5校、併置1校）、私立が10校（全日制10校）となっている。

学科別では、1学科のみの単独校が34校（普通科22校、農業科2校、工業科5校、商業科2校、その他1校、総合学科2校）、総合校が19校（「普通科と専門学科1」の学校が11校、「普通科と専門学科2以上」の学校が7校、「専門学科1と総合学科」の学校が1校）となっている。普通科を設置している学校は40校（構成比75.5%）である。

男女別学校数では、男子校及び女子校は無く、男女共学校が53校となっている。

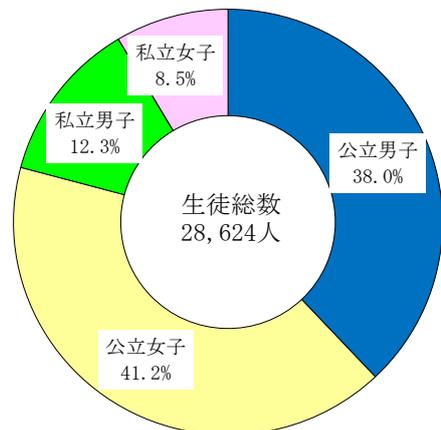
(表13、統計表68、69、70)

(2) 生徒数

生徒数は28,624人（男子14,391人、女子14,233人）で、前年度より47人（0.2%）減少している。これはピーク時（昭和40年度、65,436人）の43.7%である。

設置者別にみると、公立が22,653人（男子10,864人、女子11,789人）で、前年度より28人（0.1%）減少し、私立が5,971人（男子3,527人、女子2,444人）で、前年度より19人（0.3%）減少している。この結果、公立が79.1%、私立が20.9%の割合であった。

図5 設置者・男女別生徒数の構成



課程別では、全日制本科が 27,267 人（男子 13,772 人、女子 13,495 人）で、前年度より 38 人（0.1%）減少し、定時制本科が 1,089 人（男子 510 人、女子 579 人）で、前年度より 22 人（2.0%）減少し、全日制専攻科が 93 人（男子 15 人、女子 78 人）で、前年度より 6 人（6.1%）減少し、定時制専攻科が 175 人（男子 94 人、女子 81 人）で、前年度より 19 人（12.2%）増加している。

本科生徒数を学科別にみると、普通科が 18,541 人（構成比 65.4%）で最も多く、次いで工業科が 3,403 人（同 12.0%）、商業科が 2,241 人（同 7.9%）などとなっている。

本務教員 1 人当たりの生徒数は 12.4 人（前年度 12.4 人）で、全国の 14.1 人を下回っている。

本年度の本科の入学者数は 9,543 人（全日制 9,214 人、定時制 329 人）で、前年度より 90 人（0.9%）減少し、このうち他県所在の中学校卒業者が 35 人（全日制 34 人、定時制 1 人）、過年度中学校卒業者が 16 人（全日制 2 人、定時制 14 人）であった。

（表 13、14、15、16、図 5、統計表 82、83、84、85）

表14 学年別生徒数（本科＋専攻科）

（単位：人）

年度	計	男子	女子	本 科					専攻科
				計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	
平成24	29,279	14,688	14,591	28,999	9,846	9,396	9,643	114	280
25	28,864	14,578	14,286	28,587	9,645	9,646	9,203	93	277
26	28,857	14,524	14,333	28,574	9,576	9,438	9,476	84	283
27	28,671	14,394	14,277	28,416	9,662	9,387	9,264	103	255
28	28,624	14,391	14,233	28,356	9,576	9,487	9,192	101	268

表15 学科別生徒数（本科のみ）

（単位：人）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成24	28,999	18,835	587	3,583	2,366	176	664	117	119	1,121	1,431
25	28,587	18,540	577	3,532	2,297	175	653	118	119	1,159	1,417
26	28,574	18,574	575	3,488	2,301	173	658	116	109	1,161	1,419
27	28,416	18,521	567	3,425	2,247	178	666	117	99	1,168	1,428
28	28,356	18,541	553	3,403	2,241	180	648	118	90	1,157	1,425
男子	14,282	9,025	317	2,886	856	120	76	6	4	589	403
女子	14,074	9,516	236	517	1,385	60	572	112	86	568	1,022

注）理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

表16 学科別生徒数構成比（本科のみ）

（単位：%）

年度	計	普通	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	福祉	その他	総合
平成24	100.0	65.0	2.0	12.4	8.2	0.6	2.3	0.4	0.4	3.9	4.9
25	100.0	64.9	2.0	12.4	8.0	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
26	100.0	65.0	2.0	12.2	8.1	0.6	2.3	0.4	0.4	4.1	5.0
27	100.0	65.2	2.0	12.1	8.0	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
28	100.0	65.4	2.0	12.0	7.9	0.6	2.3	0.4	0.3	4.1	5.0
男子	100.0	63.2	2.2	20.2	6.0	0.8	0.5	0.0	0.0	4.1	2.8
女子	100.0	67.6	1.7	3.7	9.8	0.4	4.1	0.8	0.6	4.0	7.3

注）理数関係及び外国語関係はその他に分類されている（探究科学科を含む）。

(3) 教員数及び職員数

教員数（本務者）は2,313人（男子1,446人、女子867人）で、前年度より4人（0.2%）増加している。教員数に占める女子教員の割合は37.5%である。

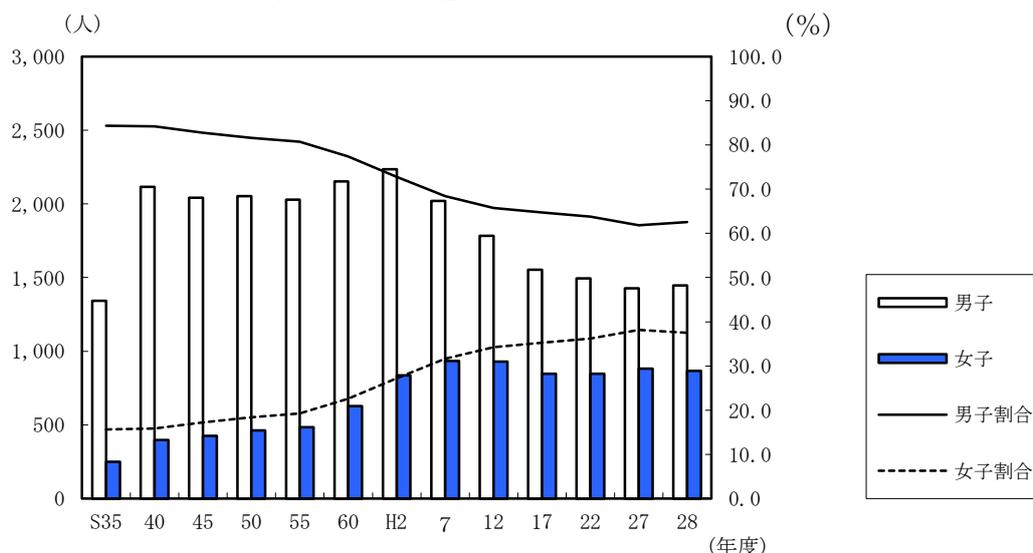
設置者別にみると、公立が1,913人（男子1,169人、女子744人）、私立が400人（男子277人、女子123人）となっている。

職員数は439人で、前年度より20人減少している。（表13、17、図6、統計表75、76、77）

表17 男女別教員数 （単位：人）

年度	計	男	女
平成23	2,354	1,499	855
24	2,344	1,485	859
25	2,308	1,451	857
26	2,316	1,445	871
27	2,309	1,428	881
28	2,313	1,446	867

図6 男女別教員数の推移



【通信制課程】

(1) 学校数

学校数は2校（併置校2校）で、前年度と同数である。

(2) 生徒数

生徒数は922人（男子425人、女子497人）で、前年度より25人（2.8%）増加している。20歳以上について年齢別にみると、「30～39歳」が192人（構成比20.8%）で最も多く、次いで「20～24歳」が190人（同20.6%）、「25～29歳」が128人（同13.9%）などとなっている。

(3) 教員数

教員数（本務者）は18人で、前年度より1人（5.3%）減少している。

（統計表90、91、94）

6 特別支援学校

在学者数 1,306 人で増加

表18 特別支援学校の推移

(単位：校、学級、人、%)

年度	A		B		C		D		1学級当たり		本務教員1人当たり	
	学校数	学級数	在学者数	対前年度 増減率	在学者数	対前年度 増減率	教員数 (本務者)	対前年度 増減率	在学者数 C/B	対前年度 増減数	在学者数 C/D	対前年度 増減数
平成23	13	351	1,215	2.5	892	0.1	3.5	0.1	1.4	0.1		
24	13	347	1,227	1.0	908	1.8	3.5	0.0	1.4	0.0		
25	15	345	1,243	1.3	907	△0.1	3.6	0.1	1.4	0.0		
26	15	354	1,276	2.7	905	△0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
27	15	359	1,295	1.5	907	0.2	3.6	0.0	1.4	0.0		
28	15	353	1,306	0.8	919	1.3	3.7	0.1	1.4	0.0		
国立	1	9	59	0.0	29	△6.5	6.6	0.0	2.0	0.1		
公立	14	344	1,247	0.9	890	1.6	3.6	0.1	1.4	0.0		

(1) 学校数

学校数は15校で、前年度と同数である。

設置者別にみると、国立が1校、公立が14校となっている。

(2) 学級数

学級数は353学級で、その内訳は、幼稚部が7学級、小学部が130学級、中学部が92学級、高等部が124学級となっている。

(3) 在学者数

在学者数は1,306人(男子901人、女子405人)で、前年度より11人(0.8%)増加している。

(4) 教員数

教員数(本務者)は919人(男子292人、女子627人)で、前年度より12人(1.3%)増加している。

(表18、統計表95、96、97、100)

7 専修学校・各種学校

学校数は専修学校、各種学校ともに減少
生徒数は専修学校は減少、各種学校は増加

【専修学校】

表19 専修学校の推移

(単位：校、人)

年度	学校数	生徒数			教員数		課程別生徒数(再掲)		
		計	男子	女子	本務者	兼務者	高等課程	専門課程	一般課程
平成23	31	3,339	1,043	2,296	268	1,104	162	3,119	58
24	32	3,338	927	2,411	285	1,116	171	3,132	35
25	32	3,442	935	2,507	294	1,094	182	3,221	39
26	30	3,494	975	2,519	290	1,128	152	3,322	20
27	29	3,425	953	2,472	285	1,138	155	3,247	23
28	28	3,253	967	2,286	270	1,153	156	3,093	4
公立	5	665	65	600	61	429	-	665	-
私立	23	2,588	902	1,686	209	724	156	2,428	4

(1) 学校数

学校数は28校で、前年度より1校減少(廃校1校)している。また、休校中の学校は3校(私立3校)であった。

設置者別にみると、公立が5校、私立が23校となっている。(表19、統計表102、103)

(2) 生徒数

生徒数は3,253人で、前年度より172人(5.0%)減少している。

男女別にみると、男子が967人で、前年度より14人(1.5%)増加し、女子が2,286人で、前年度より186人(7.5%)減少している。

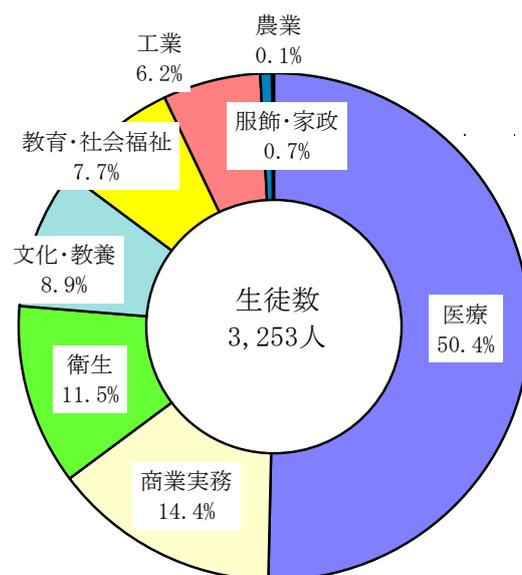
課程別では、高等課程が156人(構成比4.8%)、専門課程が3,093人(同95.1%)、一般課程が4人(同0.1%)となっている。

分野別では、医療関係1,638人、商業実務関係469人、衛生関係375人の順に多い。

学科別では、看護1,121人、美容275人、理学・作業療法183人の順に多い。

(表19、図7、統計表102、106、107)

図7 専修学校の学科分野別生徒数の構成



(3) 教員数

教員のうち本務者は270人（男子84人、女子186人）で、前年度より15人（5.3%）減少し、兼務者は1,153人（男子640人、女子513人）で、前年度より15人（1.3%）増加している。

教員数（本務者）を課程別にみると、高等課程が9人、専門課程が257人、一般課程が4人となっている。設置者別では、公立が61人、私立が209人となっている。

（表19、統計表102、109）

【各種学校】

表20 各種学校の推移

（単位：校、人）

年度	学校数	生徒数			教員数		修業年限別生徒数（再掲）	
		計	男子	女子	本務者	兼務者	1年未満	1年以上
平成23	27	2,431	1,370	1,061	276	103	1,769	662
24	26	2,391	1,316	1,075	273	105	1,738	653
25	25	2,458	1,356	1,102	272	108	1,874	584
26	25	3,012	1,748	1,264	280	101	2,493	519
27	25	2,320	1,313	1,007	274	90	1,893	427
28	24	2,980	1,659	1,321	257	105	2,570	410
私立	24	2,980	1,659	1,321	257	105	2,570	410

(1) 学校数

学校数は24校で、前年度より1校減少（廃校1校）している。また、休校中の学校は1校であった。

（表20、統計表110）

(2) 生徒数

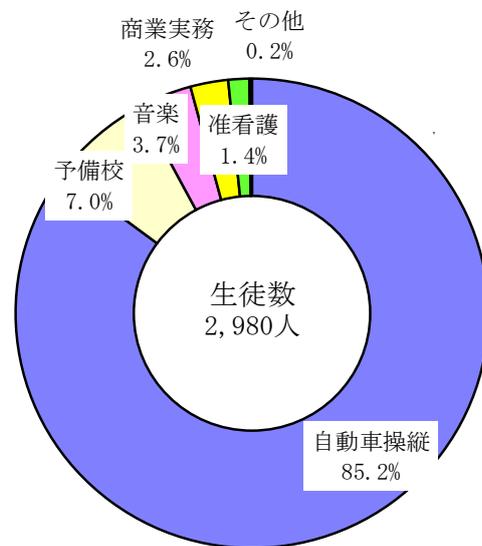
生徒数は2,980人で、前年度より660人（28.4%）増加している。

男女別にみると、男子が1,659人で、前年度より346人（26.4%）増加し、女子が1,321人で、前年度より314人（31.2%）増加している。

課程別では、自動車操縦2,538人、予備校208人、音楽109人の順に多い。

（表20、図8、統計表110、112）

図8 各種学校の課程別生徒数の構成



(3) 教員数

教員数のうち本務者は257人（男子227人、女子30人）で、前年度より17人（6.2%）減少し、兼務者は105人（男子63人、女子42人）で、前年度より15人（16.7%）増加している。

（表20、統計表110、115）

8 中学校（卒業後の状況）

高等学校等進学率 99.0% で全国第 13 位

表21 中学校卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I 進学率 B/A	J 就職率 (E+H)/A
平成23	10,044	9,932	1	1	31	79	—	2	98.9	0.3
24	10,308	10,194	3	3	28	79	1	2	98.9	0.3
25	10,098	9,982	1	1	26	87	1	2	98.9	0.3
26	10,063	9,968	2	2	29	60	2	3	99.1	0.3
27	10,189	10,101	1	3	19	65	—	1	99.1	0.2
28	10,095	9,995	2	3	24	71	—	3	99.0	0.3
男子	5,222	5,154	2	3	23	40	—	3	98.7	0.5
女子	4,873	4,841	—	—	1	31	—	—	99.3	0.0
国立	159	158	—	—	—	1	—	—	99.4	—
公立	9,826	9,727	2	3	24	70	—	3	99.0	0.3
私立	110	110	—	—	—	—	—	—	100.0	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 28 年 3 月の中学校卒業生数は 10,095 人で、前年度より 94 人 (0.9%) 減少している。

男女別にみると、男子が 5,222 人で、前年度より 76 人 (1.5%) 増加し、女子が 4,873 人で、前年度より 170 人 (3.4%) 減少している。

進路別では、高等学校等進学者が 9,995 人 (構成比 99.0%)、専修学校高等課程進学者・専修学校一般課程等入学者が 5 人 (同 0.0%)、就職者が 24 人 (同 0.2%) などとなっている。

(表 21、統計表 119、120)

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 9,995 人 (男子 5,154 人、女子 4,841 人) で、前年度より 106 人 (1.0%) 減少している。その内訳は、高等学校全日制課程 9,263 人 (構成比 92.7%)、定時制課程 313 人 (同 3.1%)、高等専門学校 282 人 (同 2.8%)、特別支援学校高等部 80 人 (同 0.8%)、高等学校通信制課程 57 人 (同 0.6%) である。

他県への進学者数は 148 人で、前年度より 31 人 (17.3%) 減少し、進学者全体の 1.5% であった。

(表 21、22、統計表 119、120)

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 99.0% (前年度 99.1%) で、全国第 13 位 (前年度第 6 位) であった。

男女別にみると、男子が 98.7% (前年度 98.8%)、女子が 99.3% (前年度 99.5%) となっている。

(表 21、23、図 9、統計表 119、120)

表22 高等学校等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年3月	高等学校等 進学者総数	高 等 学 校			高等専門 学 校	特別支援 学校高等部
		全日制	定時制	通信制		
平成23	9,932	9,253	311	57	251	60
24	10,194	9,497	331	44	267	55
25	9,982	9,319	320	43	231	69
26	9,968	9,278	303	38	269	80
27	10,101	9,363	319	60	282	77
28	9,995	9,263	313	57	282	80
男子	5,154	4,740	127	30	202	55
女子	4,841	4,523	186	27	80	25

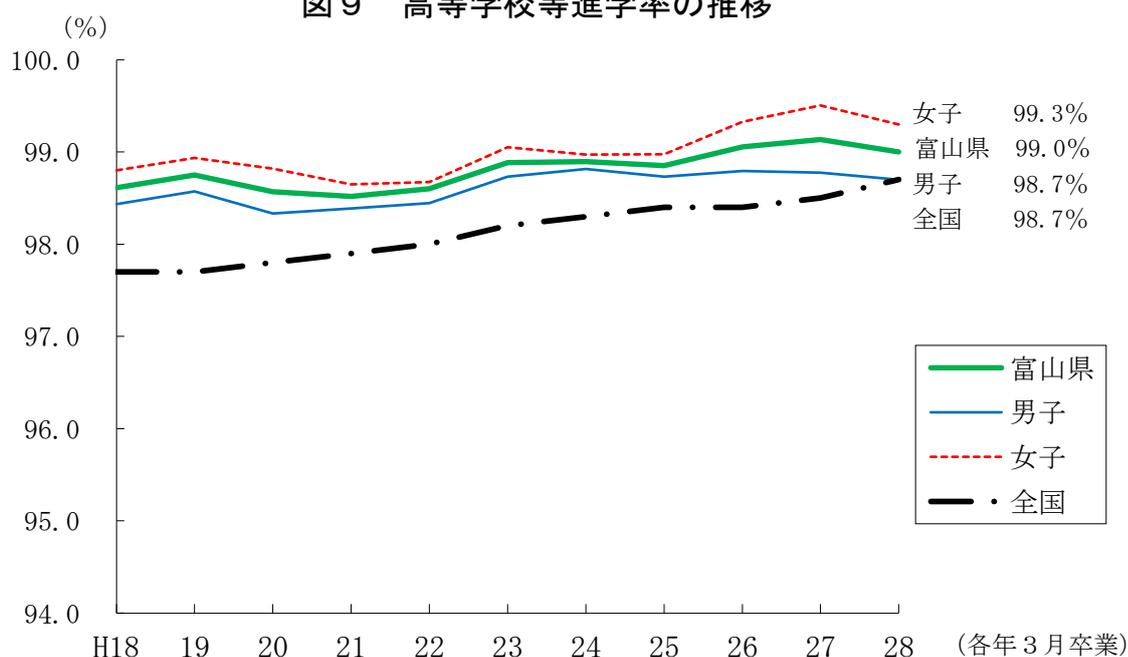
表23 高等学校等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男 子	女 子	全 国
平成18	98.6	98.4	98.8	97.7
19	98.8	98.6	98.9	97.7
20	98.6	98.3	98.8	97.8
21	98.5	98.4	98.6	97.9
22	98.6	98.4	98.7	98.0
23	98.9	98.7	99.1	98.2
24	98.9	98.8	99.0	98.3
25	98.9	98.7	99.0	98.4
26	99.1	98.8	99.3	98.4
27	99.1	98.8	99.5	98.5
28	99.0	98.7	99.3	98.7

注) 高等学校等進学率は、通信制を含む。
 高等学校等進学率の最高は、平成27年の99.14%であった。(平成26年は99.06%)

図9 高等学校等進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表 21 の「E 就職者」と「H BCD のうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は 27 人（男子 26 人、女子 1 人）で、前年度より 7 人（35.0%）増加している。その内訳は、就職者 24 人、就職進学者 3 人である。

就職率は 0.3%（男子 0.5%、女子 0.0%）であった。

就職者総数を産業別にみると、第 2 次産業が 14 人、第 3 次産業が 12 人、その他が 1 人などとなっている。

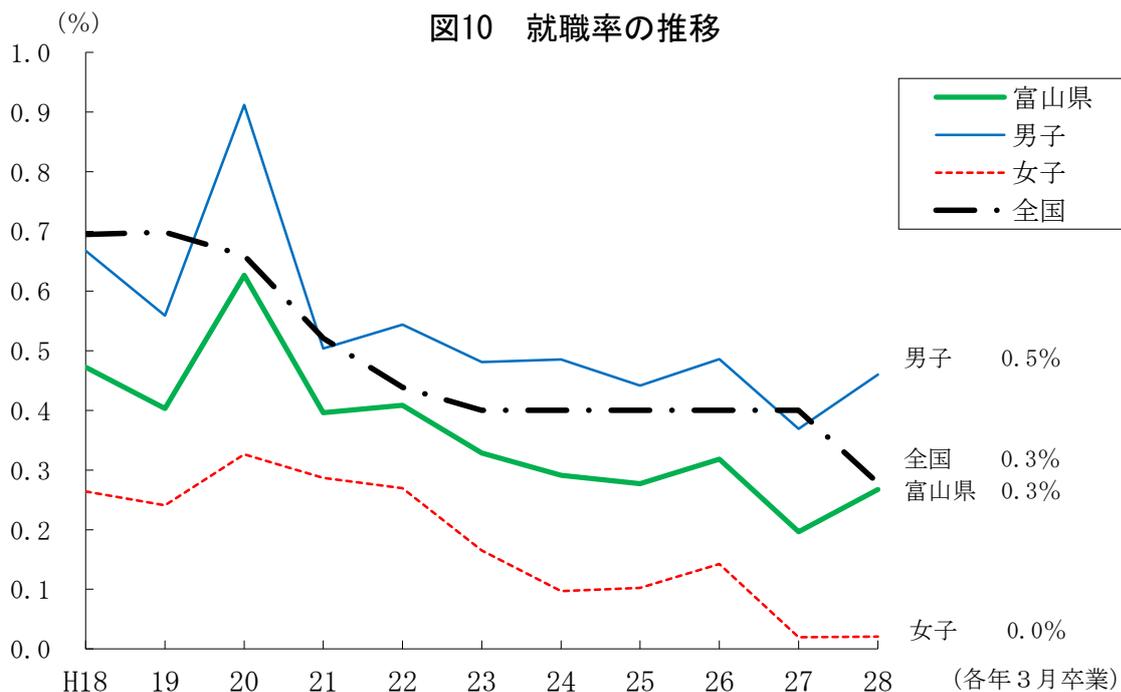
県内就職者数は 24 人（構成比 88.9%）で、前年度より 5 人（26.3%）増加している。

（表 21、24、図 10、統計表 119、120、122）

表24 就職者数及び県内就職率の推移

（単位：人、%）

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成18	48	46	95.8
19	41	40	97.6
20	63	56	88.9
21	39	37	94.9
22	43	40	93.0
23	33	30	90.9
24	30	27	90.0
25	28	25	89.3
26	32	27	84.4
27	20	19	95.0
28	27	24	88.9



9 高等学校（卒業後の状況）

大学等進学率 52.0%で全国第21位

県内就職率 95.1%で全国第2位

表 25 高等学校（全日制課程・定時制課程）卒業者の状況別推移

（単位：人、％）

各年 3月	A	B	C	D	E		F	G	H	I	J	K
	卒業生数	大学等 進学者	専修学校 専門課程 進学者	専修学校 一般課程 等入学者	就職者	うち正規 の職員等 でない者	一時的な 仕事に就 いた者	左記以外 の者	不詳 死亡	BCDのう ち就職し ている者 (再掲)	大学等 進学率 B/A	就職率 (E+I)/A
平成23	8,926	4,837	1,506	737	1,708		51	85	2	13	54.2	19.3
24	8,791	4,683	1,486	682	1,791		46	100	3	11	53.3	20.5
25	9,556	5,003	1,724	664	1,957		66	142	—	12	52.4	20.6
26	9,106	4,712	1,627	593	2,007		37	130	—	12	51.7	22.2
27	9,365	4,870	1,668	620	2,063	2	37	107	—	18	52.0	22.2
28	9,161	4,762	1,512	644	2,083	7	33	127	—	9	52.0	22.8
男子	4,658	2,267	509	450	1,368	4	7	57	—	5	48.7	29.5
女子	4,503	2,495	1,003	194	715	3	26	70	—	4	55.4	16.0
公立	7,283	4,005	1,099	556	1,508	5	22	93	—	9	55.0	20.8
私立	1,878	757	413	88	575	2	11	34	—	—	40.3	30.6

注) 1 「A 卒業生数」は、全日制課程本科・定時制課程本科の卒業生数。

2 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

3 「F 一時的な仕事に就いた者」は、パートやアルバイト等の臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者の数で、就職率には含まれていない。

(1) 卒業生数

平成28年3月の高等学校卒業生数は9,161人で、前年度より204人(2.2%)減少している。

男女別にみると、男子が4,658人で、前年度より11人(0.2%)減少し、女子が4,503人で、前年度より193人(4.1%)減少している。

設置者別では、公立が7,283人、私立が1,878人となっている。

課程別では、全日制課程が8,877人、定時制課程が284人となっている。

進路別では、大学等進学者が4,762人(構成比52.0%)、専修学校専門課程進学者が1,512人(同16.5%)、専修学校一般課程等入学者が644人(同7.0%)、就職者が2,083人(同22.7%)、一時的な仕事に就いた者が33人(同0.4%)などとなっている。

(表25、統計表124、125、126、127)

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は4,762人(男子2,267人、女子2,495人)で、前年度より108人(2.2%)減少している。その内訳は、大学学部4,017人(男子2,147人、女子1,870人)(構成比84.4%)、短期大学本科655人(男子90人、女子565人)(同13.8%)、高等学校専攻科89人(同1.9%)、短大・短期大学の通信教育部1人(同0.0%)である。

卒業学科別にみると、普通科が3,745人(構成比78.6%)、農業科が34人(同0.7%)、工業科が171人(同3.6%)、商業科が254人(同5.3%)、水産科が9人(同0.2%)、家庭科

が55人(同1.2%)、看護科が36人(同0.8%)、福祉科が10人(同0.2%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が219人(同4.6%)、総合学科が229人(同4.8%)となっている。(表25、26、統計表124、125)

表26 大学等進学者の進学先別内訳

(単位：人)

各年 3月	大学(学部)			短大(本科)			大学・短大 の別科	高等学校 専攻科	特別支援学校 高等部専攻科	大学・短大の 通信教育部
	計	男子	女子	計	男子	女子				
平成23	4,025	2,169	1,856	730	111	619	1	78	—	3
24	3,905	2,086	1,819	699	101	598	—	75	1	3
25	4,160	2,256	1,904	780	114	666	—	61	1	1
26	3,984	2,160	1,824	659	96	563	—	68	1	—
27	4,086	2,155	1,931	710	96	614	1	73	—	—
28	4,017	2,147	1,870	655	90	565	—	89	—	1

(3) 大学等進学率

大学等進学率は52.0%で、前年度と同率であり、全国第21位(前年度第19位)であった。このうち大学学部への進学率は43.8%で、前年度より0.2ポイント上昇し、短期大学本科への進学率は7.1%で、前年度より0.5ポイント低下している。

男女別にみると、男子が48.7%(前年度48.6%)、女子が55.4%(前年度55.4%)で、女子の大学等進学率が男子を上回っている。大学学部への進学率では、男子が46.1%(前年度46.2%)、女子が41.5%(前年度41.1%)と、男子が女子を上回っている。なお、女子の進学率の内訳では、大学学部への進学率(41.5%)が短期大学本科への進学率(12.5%)を上回っている。

卒業学科別では、普通科が63.3%(前年度62.5%)、農業科が17.9%(前年度21.6%)、工業科が15.1%(前年度14.3%)、商業科が34.7%(前年度36.8%)、水産科が15.5%(前年度24.5%)、家庭科が27.4%(前年度24.2%)、看護科が97.3%(前年度100.0%)、福祉科が26.3%(前年度46.2%)、理数関係又は外国語関係など(統計表では「その他」に計上)が56.7%(前年度60.3%)、総合学科が48.6%(前年度52.7%)となっている。

(表25、27、図11、12、13、統計表124、125)

表27 大学等進学率の推移

(単位：%)

各年3月	富山県	男子	女子	全国
平成18	51.4	50.2	52.5	49.3
19	53.6	51.5	55.7	51.2
20	54.6	52.0	57.3	52.8
21	54.2	50.5	58.0	53.9
22	55.2	52.5	57.9	54.3
23	54.2	51.1	57.3	53.9
24	53.3	50.7	55.8	53.5
25	52.4	49.6	55.1	53.2
26	51.7	49.1	54.4	53.8
27	52.0	48.6	55.4	54.5
28	52.0	48.7	55.4	54.7

注) 大学等進学率の最高は、平成22年の55.2%であった。
男女別では、男子は平成22年の52.5%、女子は平成21年の58.0%であった。

図11 大学等進学率の推移（全国比較）

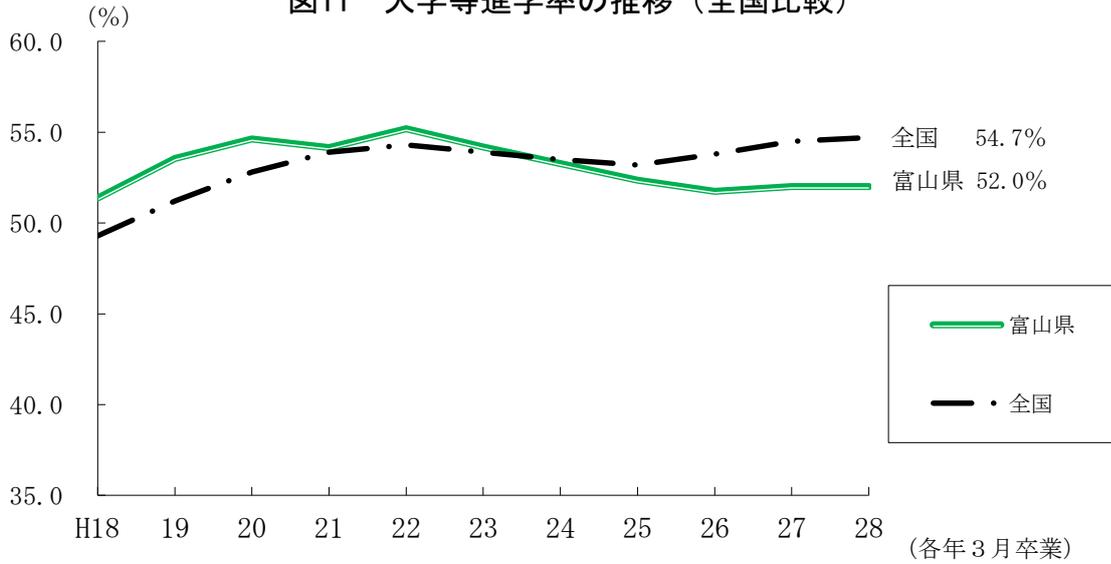


図12 大学等進学率の推移（男女別全国比較）

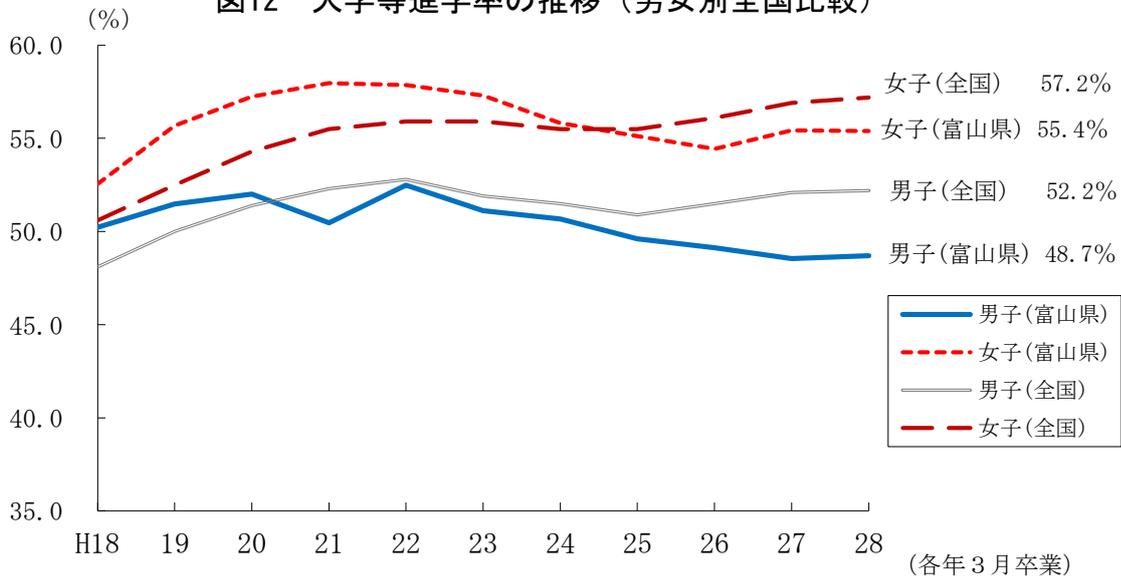
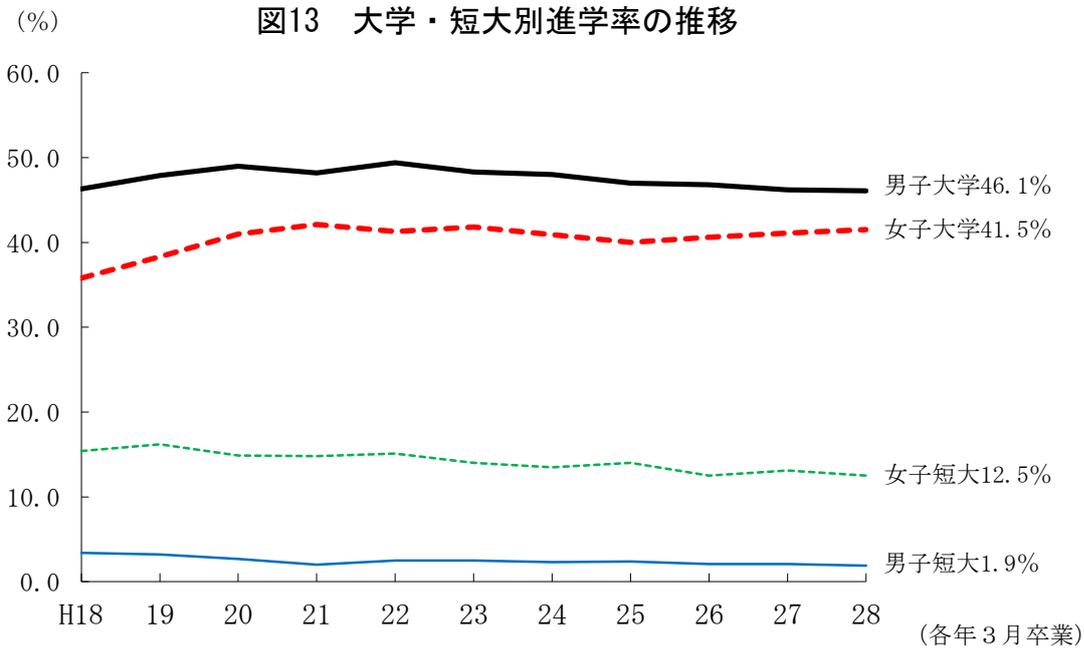


図13 大学・短大別進学率の推移



(4) 就職状況

就職者総数（表25の「E就職者」と「I BCDのうち就職している者（再掲）」（就職進学者）を加えた全就職者数）は2,092人（男子1,373人、女子719人）で、前年度より11人（0.5%）増加している。その内訳は、就職者2,083人、就職進学者9人であった。

就職率は22.8%で、前年度より0.6ポイント上昇しており、全国の17.9%を上回っている。男女別にみると、男子が29.5%（前年度28.7%）、女子が16.0%（前年度15.7%）となっている。

就職者総数を産業別にみると、「製造業」が1,160人（構成比55.4%）で最も多く、次いで「建設業」が182人（同8.7%）、「卸売業・小売業」が146人（同7.0%）などとなっている。

職業別では、「生産工程従事者」が1,122人（構成比53.6%）で最も多く、次いで「サービス職業従事者」が223人（同10.7%）、「事務従事者」が133人（同6.4%）、「販売従事者」が125人（同6.0%）などとなっている。

就職先を県内・県外別にみると、県内就職者数が1,989人で、県外就職者数の103人を大きく上回っており、県内就職率は95.1%と、前年度より0.9ポイント上昇し、全国第2位（前年度第2位）であった。

県外就職者の都道府県別では、石川県31人、東京都19人、大阪府14人、愛知県11人などとなっている。

（表25、28、図14、15、16、統計表124、125、129、130、131、132）

図14 就職者の産業別割合

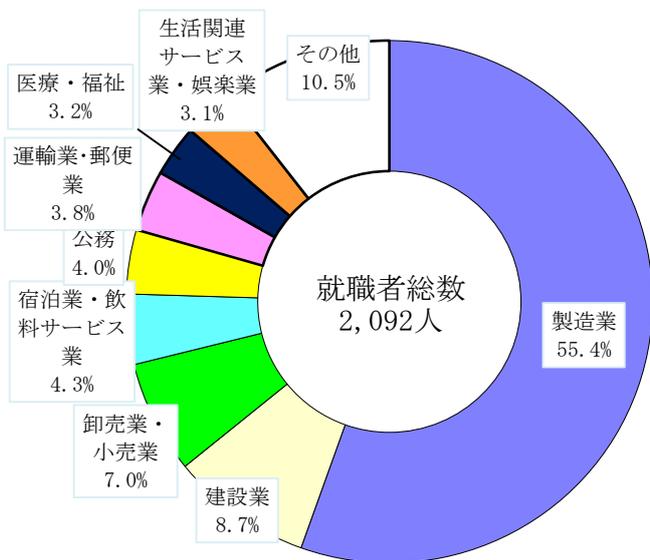


図15 就職者の職業別割合

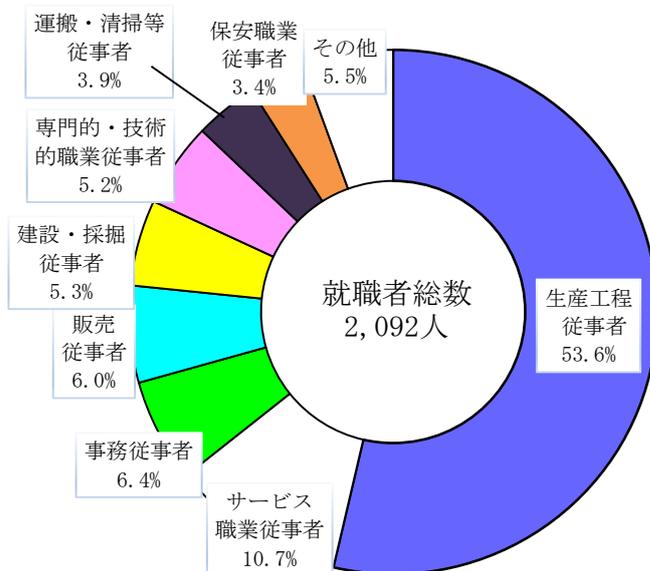
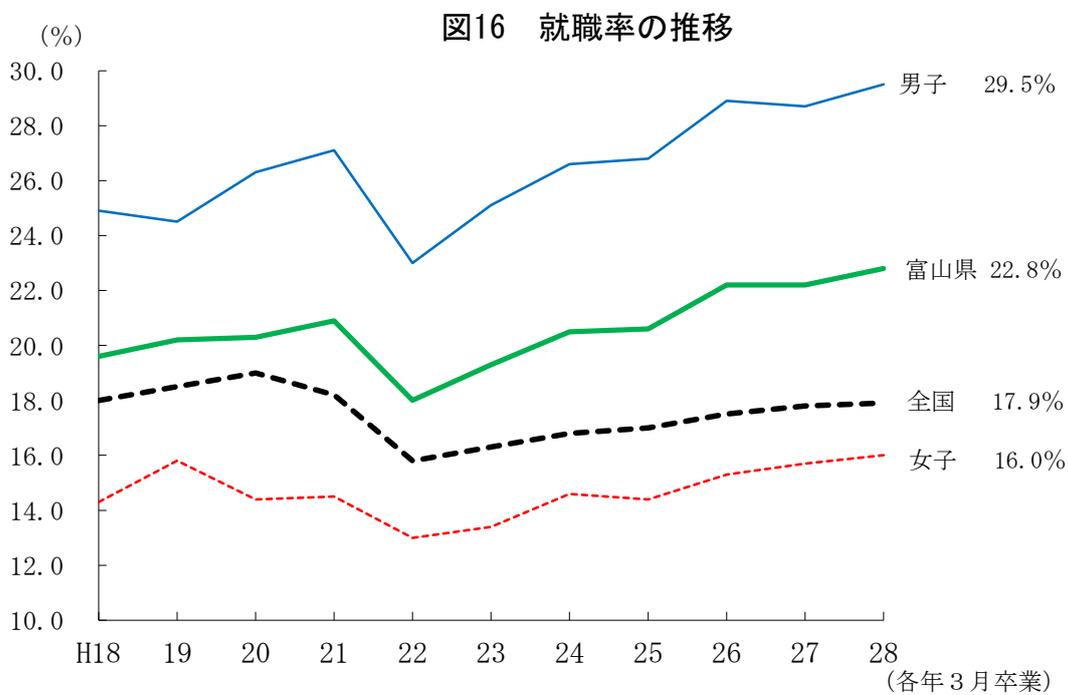


表 28 就職者数及び県内就職率の推移

(単位：人、%)

各年 3 月	就職者総数	うち県内 就職者	県内就職率
平成18	1,955	1,838	94.0
19	2,012	1,882	93.5
20	1,896	1,742	91.9
21	1,877	1,715	91.4
22	1,629	1,502	92.2
23	1,721	1,610	93.6
24	1,802	1,698	94.2
25	1,969	1,857	94.3
26	2,019	1,859	92.1
27	2,081	1,960	94.2
28	2,092	1,989	95.1

注) 県内就職率の最高は、平成28年の95.1%となった。



10 特別支援学校（卒業後の状況）

【中学部】

表 29 特別支援学校中学部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 高等学校 等進学者	C 専修学校 高等課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成23	96	94	—	—	—	2	—	—	—	97.9	—
24	123	120	—	—	—	3	—	—	2	97.6	—
25	114	114	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
26	104	103	—	—	—	1	—	—	—	99.0	—
27	114	109	—	—	—	5	—	—	5	95.6	—
28	120	114	—	—	—	6	—	—	6	95.0	—

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 28 年 3 月の特別支援学校中学部卒業生数は 120 人で、前年度より 6 人 (5.3%) 増加している。

(2) 高等学校等進学者数

高等学校等への進学者数は 114 人で、前年度より 5 人 (4.6%) 増加している。

(3) 高等学校等進学率

高等学校等進学率は 95.0% で、前年度より 0.6 ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は 0 人で、前年度と同数である。

(表 29、統計表 123)

【高等部】

表 30 特別支援学校高等部卒業者の状況別推移

(単位：人、%)

各年 3月	A 卒業生数	B 大学等 進学者	C 専修学校 専門課程 進学者	D 専修学校 一般課程 等入学者	E 就職者	F 左記以 外の者	G 不詳 死亡	H BCDのうち 就職してい る者(再掲)	I Fのうち社会 福祉施設等 入所、通所者	J 大学等 進学率 B/A	K 就職率 (E+H)/A
平成23	136	3	1	—	31	101	—	—	86	2.2	22.8
24	145	3	—	3	35	104	—	—	96	2.1	24.1
25	153	4	1	1	42	105	—	—	86	2.6	27.5
26	147	2	2	—	55	88	—	—	74	1.4	37.4
27	165	4	1	—	45	115	—	—	111	2.4	27.3
28	185	2	—	2	57	124	—	—	120	1.1	30.8

注) 「D 専修学校一般課程等入学者」とは、専修学校一般課程、各種学校及び公共職業能力開発施設等入学者。

(1) 卒業生数

平成 28 年 3 月の特別支援学校高等部卒業生数は 185 人で、前年度より 20 人 (12.1%) 増加している。

(2) 大学等進学者数

大学等への進学者数は 2 人で、前年度より 2 人 (50.0%) 減少している。

(3) 大学等進学率

大学等進学率は 1.1% となり、前年度より 1.3 ポイント低下している。

(4) 就職状況

就職者数は 57 人で、前年度より 12 人 (26.7%) 増加している。

(表 30、統計表 133)